

感染症についてのお知らせ

墨田区保健所 保健予防課 感染症係
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和8年
8月号



東京都内の感染症流行情報

出典：東京都感染症情報センター「東京都感染症発生動向調査週報」

第30週（7月20日～7月26日）の定点当たり報告数

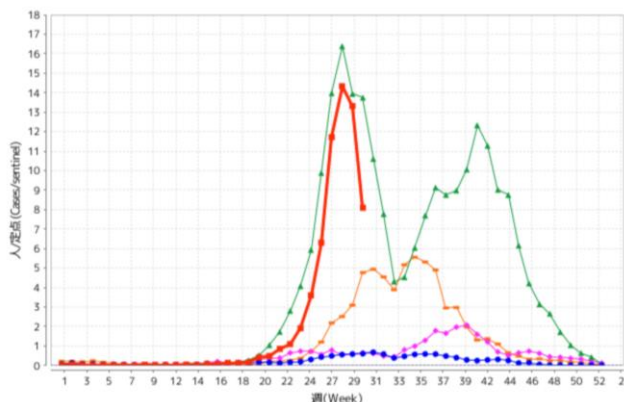
2022.1～ 2023.1～ 2024.1～ 2025.1～ 2026.1～
(C)2002-2026 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

・手足口病

東京都 8.10人/週（前週 13.31、前々週 14.33）

墨田区 5.20人/週（前週 11.40、前々週 10.00）

⇒前週・前々週と比べて報告数が減少していますが、依然として都・区ともに都の警報基準を超えています。

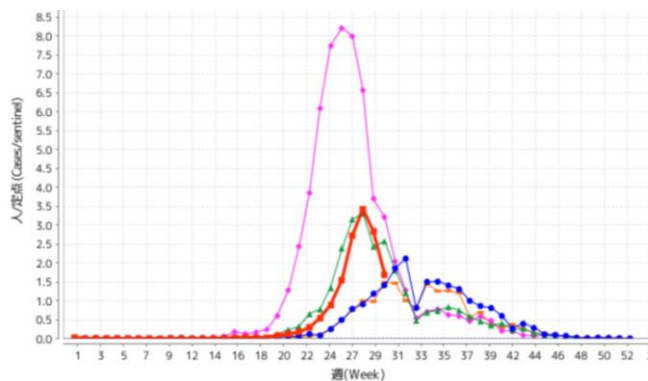


・ヘルパンギーナ

東京都 1.69人/週（前週 2.84、前々週 3.43）

墨田区 1.00人/週（前週 0.80、前々週 3.20）

⇒前週と比べて報告数が増加しました。手洗いなどの感染予防策を継続しましょう。



蚊媒介感染症に注意をしましょう

出典：東京都感染症情報センター「蚊媒介感染症」
墨田区HP「墨田区の蚊媒介感染症サーベイランス」



蚊媒介感染症とは、蚊に刺されることにより感染する感染症の総称で、**デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、マラリア、日本脳炎、ウエストナイル熱**の6疾患があげられます。

日本脳炎以外は、主に国外で発生が見られる感染症です。海外渡航時は渡航先の**感染症情報**を調べ、流行地域に渡航する際は、特に、蚊に刺されないための対策をとりましょう。



右記の症状がでることが多く、マラリア以外は対症療法が中心です。蚊に刺されない対策が重要です。



発熱



頭痛



発疹



筋肉痛
関節痛



倦怠感



「蚊媒介感染症」

▶蚊に刺されないための対策って？



肌の露出を少なくし
長袖・長ズボンを
着用しましょう



虫除けスプレーを
使用しましょう



殺虫剤や蚊取り線香を
準備しましょう

蚊の発生防止のために

蚊の幼虫であるボウフラの発生源は、溜まり水です。ボウフラの発生を抑えるためには、

・水が溜まらないようにする。
・溜まった水はすぐに捨てる
ことが重要です。



海外の蚊に注意！

感染症を媒介する蚊は**熱帯・亜熱帯地域**で多くみられます。渡航前に対策グッズを揃えておきましょう。



夏休みで海外旅行に行かれる際には、**日本にはない感染症に注意が必要です**。
時差や気候の違いなどから様々なストレスを受け、自覚がないまま免疫力が低下してしまうことで病気にかかりやすくなってしまいます。無理のないスケジュールを心がけ、避けられる危険を正しく避けて楽しい旅行にしましょう。

厚生労働省検疫所 FORTH
「海外へ渡航される皆さまへ！」
下記QRコードをご確認ください



▶ 渡航前に気を付けるべきこと



自分が受けた予防接種について
母子手帳で確認しましょう



必要な予防接種について
事前に医師に相談しましょう



渡航先の感染症情報を
事前に確認しておきましょう

▶ 帰国時に体調が悪くなったら？



空港や港に設置されている**検疫所**では、渡航者の方を対象に健康相談を行っています。帰国時に発熱・咳・発疹・下痢などの症状があったり、具合が悪かったり、体調に不安がある場合や、動物に咬まれた、蚊に刺されたなど渡航先での出来事で健康上心配なことがある場合には、検疫所で相談しましょう。

▶ 帰宅後に体調が悪くなったら？

医療機関を受診し、**渡航先・滞在期間・現地での飲食状況・渡航先での活動内容・動物との接触の有無・ワクチン接種歴**などについて必ず伝えてください。
その他不安があれば、保健所にお問い合わせください。



ダニが運ぶ感染症を知っていますか

出典：東京都感染症情報センター

▶ どんな病気なの？

主に屋外に生息するマダニに咬まれることで感染する病気です。
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、つつが虫病、日本紅斑熱、回帰熱、ライム病、ダニ媒介脳炎などがあります。
主な症状は発熱ですが、意識障害や出血症状など重篤な症状をきたす致死率の高い疾患もあります。



▶ マダニはどんなところに生息しているの？

日本全国に分布し、特に自然環境が豊かな場所に多く生息します。市街地周辺でも自然が豊かであれば、畑やあぜ道、河川敷にも生息していることがあります。

▶ どうやって予防したらいいの？

出典：東京都感染症情報センター 感染症ひとくち情報「ダニが運ぶ感染症に注意」

マダニに咬まれたら？

無理に取り除こうとすると、皮膚の中に虫の一部が残ることがあります。
必ず医療機関を受診し、処置してもらいましょう。



明るい色の服を着る
(ダニが付いているが確認しやすいため)



首にはタオルを巻く
かハイネックのものを着用する

長袖を着用し、
袖口は手袋の中へ
シャツの裾は
ズボンの中へ

ズボンの裾は
長靴の中へ
シューズの場合は
ズボンの裾に靴下
をかぶせる

- ・**長袖、長ズボン**を着用し、肌の露出を控えましょう。
- ・帰宅したら、**衣類や体にダニが付いていないかよく確認**しましょう。シャワーで全身を洗い流すことも有効です。
- ・着用していた衣類はすぐに洗濯するなど、家の中で長時間放置しないようにしましょう。
- ・ダニに効果があると記載されている**虫よけ剤（有効成分：ディート、イカリジン）**も市販されています。虫よけ剤を使うことで、ダニの付着数は減少しますが、付着を完全に防ぐわけではありません。
- ・**ペットもダニに咬まれないことが重要です**。動物病院にマダニの駆除・予防薬の投与を相談するとともに、散歩後はペットの体表をチェックし、ダニを室内に持ち込まないように注意しましょう。